

町政に関する

一般質問の主題

田口 義博

- 農業基盤整備
- 台風3号に伴う防災対策

増田 等

- 人口減少対策
- 乳幼児向けの公園と絵本のリサイクルコーナーの設置
- 小中学校のエアコンの設置
- 企業誘致促進のための固定資産税の減免
- 町営の貸農園・散歩のできる農道の整備
- 道の駅の進捗とバーベキュー広場

堀越 利雄

- 松伏町人口と世帯数の動向及び中期・長期の人口減少対策・増加計画
- 小中学校の非正規教員の人数・待遇と小中学校外国語授業における文科省の移行措置

庄子 敏一

- 小規模特認校制度の滑り出し
- 学校給食徴収金の値上げ後の課題
- 防災教育の現状と課題

川上 カ

- 小中学校の普通教室エアコン設置をごみ減量などを確実に達成し早期実現
- 空き家を活用する取り組み
- 愛犬手帳の導入を
- 子供たちの英語学習の意欲向上

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

平野 千穂

- 介護保険料の負担軽減、高齢者が生涯にわたって安心して生活するための介護サービスの充実
- 小中学校の普通教室への、1日も早いエアコン設置に向けた町の取り組みを明らかにせよ

吉田 俊一

- 平成29年度の町財政見通しを問う
- 国民健康保険の県単位・広域化について、町民にしわ寄せを行わないような準備を求める
- 高齢者の足の確保、町の交通対策について問う

福井 和義

- 人口減少時代のコミュニティスポーツ大会の実施
- 地域に根ざした読書環境づくり

山崎 隆一郎

- 農福連携の取り組み
- 病児・病後児保育の充実
- がん教育の充実
- 生活習慣病予防健診の実施
- 高齢者福祉タクシー券の利用と今後

松岡 高志

- 町制50周年記念事業を町活性化の契機に
- 大川戸地区の企業誘致

鈴木 勉

- 松伏小学校のマンモス校解消に向けた新設小学校の早期実現を
- 公共施設の利用者駐車場の舗装整備を
- 町立保育所の保育士派遣委託の中止と正規職員採用を

11人の議員が町政を問う



田口 義博 (自民クラブ)

Q 台風3号に伴う避難指示は

A 避難所と斜面から離れた安全な場所へ

問 平成29年7月4日深夜、台風3号による大雨は築比地地内では今まで経験したことがないレベルであった。これに伴い土砂災害警戒情報が発令された。町の対応は。

答 総務課長 7月4日午後8時58分に大雨警報が発令されたことに伴い、総務課職員、新市街地整備課職員で警戒態勢をとり、情報収集にパトロール等を実施した。午後11時28分に土砂災害警戒情報が発令されたことにより、築比地風目地区、香取地区の13世帯に避難勧告を発令、北部サービスセンターを避難所として開設した。翌5日午前4時20分に土砂災害警戒情報が解除されたことから、避難勧告を解除し避難所を閉鎖した。

問 避難者は、なぜ避難しなかった。

答 総務課長 避難に関する情報の伝達方法は事前に電話連絡により伝達することを決めていた。大雨の際は、斜面から離れた部屋や2階に避難

し、安全を確保していただくようお願いした。パトロール等で雨が上がっていたことや前兆現象が確認されなかった。

問 地域の自治会長や消防団への周知は。

答 総務課長 パトロールし、前兆現象等が確認できず、夜も遅かったことから連絡はしなかった。今後は、速やかに連絡する。

気象官署とアメダスの期間降水量と期間最大1時間降水量 (平成29年7月4日00時～5日24時) 観測所名: 越谷

降水量 (mm)		
4日	5日	期間合計
63.5	7.5	71.0
期間最大1時間降水量		
(mm)	月日	時分
32.0	7/4	21:58

資料提供: 気象庁HPより抜粋



増田 等 (自民クラブ)

Q 企業誘致の固定資産税減免の影響

A 固定資産税・地方交付税減収懸念

問 新町長公約とまちづくりに関する考えを問う。
人口対策としての学校給食・固定資産税の減免制度、引越費用補助、ゆめみ野空き家の貸出し制度を問う。

答 **企画財政課長** 固定資産税の減免により、税額減免相当額の地方交付税が減収となる。財源確保も精査し、効果的な各種施策を検討していく。

問 乳幼児向け公園と絵本のリサイクルコーナーについて問う。

答 **新市街地整備課長** 本公園は県営まつぶし緑の丘公園の一部を利用して整備できるか検討している。
教育文化振興課長 公民館に絵本に特化したコーナーの設置やリサイクル図書フェアの開催などに努める。

問 小中学校のエアコン設置による財政負担について問う。

答 **教育総務課長** エアコン設置により児童・生徒一人当たり年間約8,800円、教育費の約6%の上昇が見込まれる。

環境経済課長 維持管理費は家庭ゴミ10%減量でおおよそ賄える試算。町民各位の協力を求めている。

問 企業誘致のための固定資産税減免を問う。

答 **企画財政課長** 土地の固定資産税3,200万円/年と減免相当額の地方交付税が減収となる懸念がある。

問 町営の貸農園・散歩のできる農道の整備を問う。

答 **環境経済課長** 貸農園は既存公共施設周辺の農地の活用を検討。農道は北部拠点周辺で研究進める。

問 道の駅の進捗とバーベキュー広場の設置について問う。

答 **新市街地整備課長** 貸農園の構想策定。バーベキュー広場は緑の丘公園内の可能性の協議を進める。



実行に近い松伏・田島地区(仮称)産業団地(写真は先進地)



堀越 利雄 (自由クラブ)

Q 人口減少対策の中長期計画は

A 新市街地区域内の工業団地誘致

問 平成21年2月の31667人という人口ピークから、松伏町は人口減少が続いている。今年7月には29936人になった。一方、世帯数は人口ピーク時より660世帯増えた。この現況をどうとらえるのか。

答 **企画財政課長** 全国的に進む核家族化により、1世帯当りの人数が減っている。

問 人口減少対策の中長期計画は。

答 **町長** 新市街地区域の工業団地誘致、仕事場の確保が大事。第5次総合振興計画の後期に拡大して行けたらと考えている。

問 文科省は平成32年度に小学校、平成33年度に中学校で、新学習指導要領が実施されるまでの移行措置案を通知している。移行措置案では小学3、4年生と小学5、6年生、それぞれ外国語授業時間を15単位増やすとしている。松伏町の対応と課題を問う。

答 **教育総務課長** 今回、移行措置の通知が出て、小学校の第3学年から第6学年までは、年間授業時間を15単位時間増やすように指示があった。教育委員会としては長期休業日を短くする対応は現時点では考えていない。学校の教育過程は校長に委任しており、確実な15時間の確保を見届けたい。



人口と世帯掲示板



莊子 としかず (新自民クラブ)

Q 小規模特認校のスタートは順調か

A 多方面で高い評価を得ている

問 小規模特認校（金杉小学校）の英語教育は児童・保護者にどのような評価をいただいているのか。

答 **教育総務課長** 外国語活動の時間に対して特段の感想は寄せられていない。

しかし、ALTが常駐し日常的に英語と触れ合えるので、保護者や地域の方から肯定的な評価をいただいている。

問 ALTは全学年に何らかの関わりを持っているのか。

答 **教育総務課長** 外国語活動で、5、6年生は、週当たり3時間授業に参加している。それ以外に、第1学年から第4学年は週1回以上、第5第6学年は週1回、特別支援学級を含め全クラスの授業に参加している。また、毎週水曜と木曜の5時間目には、1年生から4年生及び特別支援学級対象に、ALTとJAETで英語の体験ができる時間を設けている。

問 英語教育以外の事業も成果を上げているのか。

答 **教育総務課長** 少人数指導とチーム・ティーチングを実施して、高い評価をいただいている。

放課後子ども教室は、週2回、学習活動や体験活動を実施している。学習活動は「宿題の援助、漢字教室、算数教室」などを、体験活動では「ポッチャ、ドッチビー、グランドゴルフ、スナッグゴルフ、卓球バレー」などを実施している。



金杉小の児童なら誰でも参加できる放課後子ども教室



川上 力 (公明党)

Q エアコン導入へ可燃ごみの減量を

A 堆肥化施設への個人搬入を促す

問 エアコン導入に向けた可燃ごみの減量には、生ごみの水切り啓発よりも、剪定枝・草木のたい肥化を推進した方が効果がある。検討すべきではないか。

答 **環境経済課長** 夏季においては、刈草や剪定枝が燃えるごみとして出されるケースが多々発生しており、東埼玉資源環境組合堆肥化施設搬入に誘導できれば可燃ごみの減量化やリサイクルの推進に大きく寄与するものと認識。実効性があがるように「東埼玉資源環境組合事務連絡協議会において協議中。時間を要することから、当面は広報等で堆肥化施設への個人搬入を促していきたい。

問 町内の空き家を把握し、優良な空き家への対策をとることが人口減少への一助となる。対策はないか。

答 **新市街地整備課長** 町では現在、公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会越谷支部と、「松伏町における空き家等対策に関する協定書」の締結を目指

し、協議を進めている。協定締結により相互に連携、協力して空家の流通を促進し、町内の空家等の適正管理を進めていく。

問 犬の飼育に便利な愛犬手帳の導入ができないか。

答 **環境経済課長** 指摘の愛犬手帳の導入については、近隣市町の状況や費用対効果を勘案しながら調査研究していき、その間、まずはホームページの情報を充実させることで、啓発やマナーの向上を図っていきたい。





平野 千穂 (日本共産党)

Q 小中学校へのエアコン早期設置を

A 町長公約をランクに分けるとAランク

問 エアコン設置までの町のタイムスケジュールは。

答 **教育総務課長** 国庫補助での最短スケジュールは、今年度は調査・研究、平成30年度は設計委託、平成31年度に国へ建築計画を提出、平成32年度に、夏休み期間を活用した工事の実施。実際に冷房として使用できるのは、早ければ平成32年度の9月以降、進捗によっては平成33年度の夏以降と考えている。また、授業と並行して工事を実施することも検討していく。

問 国庫補助を受けた場合、設計委託料は補助対象となる。調査・研究期間を早め、先行投資という考え方で基金などを活用し、今年度12月補正や、臨時議会で早急に設計に着手すべきではないか。

答 **企画財政課長** 小中学校のエアコン設置は、大変要望が多い事業の1つとして認識。また、町長の公約事業の1つ。財源、スケジュール等について、既存事業との兼ね合いも含め現在調整している。

問 町長公約では4年の任期中に公約実現させるという事だが、町が示しているタイムスケジュールでは、補助金をもらえても任期満了時にエアコンが稼働していないこともあり得る。町長の見解は。

答 **町長** エアコン設置は、公約を3ランクに分けてもAランク、5ランクに分けてもAランク。エアコン設置が私の任期中になるかどうかより、1日も早いエアコンの設置を希望している。



視察先のエアコン設置(天井吊形)



吉田 俊一 (日本共産党)

Q 高齢者の日常生活の足を確保せよ

A 必要性は認識している

問 今年8月から開始された高齢者福祉タクシー券利用助成の利用状況は。

答 **住民ほけん課長** 8月の申請は79件。利用実績はタクシー会社からの報告に時間を要するため、まだわからない。

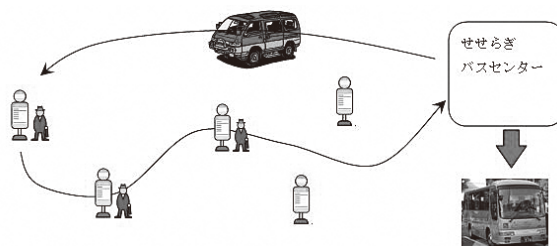
問 申請受付を9月から北部センターでも行えるようにしたことは評価するが、今後、どのように改善をしていくのか。現状は、対象が限定され、金額もわずかだ。免許を持たない人は75歳以上にならない人にも大勢いる。日中1人の高齢者にも交通手段を持たない人がいる。高齢者人口ピークの70歳前後を対象にしていることに問題がある。

答 **住民ほけん課長** 利用実績、利用者の声をふまえて検討する。

問 ときがわ町で実施しているデマンドバスは、路線バスと接続させて運行している。前橋市のマイタク

は、デマンドタクシーだが、500円のタクシー券補助という手法。対象者は、75歳以上高齢者、65歳以上の免許のない人、その他交通弱者で、年間120回分の補助(60往復分)支給。月5往復。どちらも高齢者の日常生活の足を確保しようという考え方に立っている。松伏町の政策はあまりに貧弱。「日常生活の足を確保する」という考え方に立つ必要があるのではないか。

答 **町長** 必要性については認識している。



ときがわ町のデマンドバス (路線バスと接続している)



福井 和義 (無所属クラブ)

Q コミュニティスポーツ大会の実施

A 生涯スポーツ活動を推進する

問 東京オリンピック、パラリンピックまで3年。大会の機運を盛り上げるイベントが各地で実施された。青森市では、東京までたすきでつなぐ1000km縦断リレーが行われた。東京では、各企業や家庭にラジオ体操を行ってもらうプロジェクトを始めた。このように国民のスポーツへの関心は高まっている。そこで、松伏町でもコミュニティスポーツ大会を実施することには意義がある。人口減少時代のスポーツについて、どのように考えているのか。

答 **教育文化振興課長** 当町におきましては、子供から高齢者まで、心身ともに健やかに暮らすため、生涯スポーツ活動を推進する。

問 地域に根ざした読書環境づくり
本は新しいこと、美しいこと、悲しいこと、楽し

いことを文字を通して知らせてくれる。そして、本を読むことによって、自分の知らなかったことを知り、それについて考え、人とのつき合い方、自分自身を見つめることができる。本は知識の宝庫である。読書環境をどのように進めるのか。

答 **教育文化振興課長** 中央公民館、赤岩地区公民館の充実を図っていきたい。



春日部市庄和地区スポーツ大会



山崎 隆一郎 (公明党)

Q 農業と福祉の連携について

A 連携を密に図り農福連携に努める

問 松伏町は農福連携事業についてどのような認識があるのか。

答 **環境経済課長** 今般、人口減少や高齢化が進行する中、農業を取り巻く環境は、著しく変化している。農福連携とは、障がい者や生活困窮者などの社会的に弱い立場にいる方たちが畑仕事に従事したり、農産物の加工・販売したりすることで、自分の居場所を手に入れる取り組みで、農業サイドの高齢化や後継者がいないなどの労力不足「働き手がない」という課題と、福祉サイドでの障がい者や生活困窮者の就職先不足「働く場所がない」という課題のお互いの課題を補完する、文字どおり農業の現場と福祉の現場が連携することが農福連携と考えている。

問 町がもっと積極的に、JAや障がい者施設と連携して、例えば農産物直売所での就労支援などが出来ないか。

答 **環境経済課長** 農福連携の取り組みは、福祉サイドである福祉健康課と連携を図りながら、情報を収集するとともに、JAや農業経営体などに農福連携について働きかけをしていきたいと考えている。





松岡 高志 (自民クラブ)

Q 大川戸地区企業誘致の進捗状況は

A 今年度中に着工、来年に竣工予定

問 大川戸地区の企業誘致が進み、町発展への期待と周辺への影響が懸念される。現在の進捗状況は。

答 **新市街地整備課長** 今県道の西側地域は大阪市に本社があるモリト株式会社が鉄骨造2階建ての物流倉庫を建設する。平成30年1月に着工し、平成30年10月の竣工の予定である。県道の東側はオリックス株式会社が鉄骨造4階建ての物流倉庫を建設する。本年9月に造成工事、平成30年3月に建築工事を着手し、平成31年3月に竣工と聞いている。

問 進出によって見込まれる雇用、地域の経済効果は。

答 **新市街地整備課長** モリト株式会社が80名程度、オリックス株式会社はテナントが決定していないため確定はできないが、500人程度の雇用が想定される。経済効果として税収増はもとより、地域商業施設への波及効果、公共交通機関、バスの利用者増による交通インフラへの好影響、新たな職場ができることでの定住促進が見込まれる。

問 町制50周年記念事業を町活性化の契機にしたい。事業の進捗状況は。

答 **企画財政課長** 庁舎内に実行委員会を設置し、7月に第1回会議を開催した。さらに、各課から1名ずつ選出された若手職員で構成するプロジェクトチームを設置し、イベント及び記念誌の内容を検討するため、会議を3回程度開催している。



大川戸工業団地県道東側区域の予定建築物の概要標識看板



鈴木 勉 (無所属クラブ)

Q 新設小学校の早期実現を

A 児童数減り必要性低い

問 松伏小学校のホームページで「県内屈指のマンモス校、全児童数923名の小学校」と紹介されている。児童数の減少はしているものの依然として超マンモス校の実態にある。新設小学校の早期実現をめざすべきだ。教育委員会の認識は。

答 **教育総務課長** 転入・転出等の移動は考えず、推計で平成35年には児童数664名となる。新設小学校の必要性は低くなっている。

問 町長は、新設小学校の実現をめざす考えはあるか。

答 **町長** 現段階で国庫補助の対象が難しく、新設小学校の考えはない。一刻も早く(教室に)にエアコンをつけたいと思っている。

問 外前野記念会館、赤岩農村センター、北部サービスセンター、中央公民館など利用者駐車場が未舗装となっている。利用者の利便性や安全性を踏まえ、計画的な舗装整備が必要ではないか。

答 **総務課長** 今後、計画的に整備していきたい。

問 いつから計画し、いつまでに整備していくのか。

答 **総務課長** 外前野記念会館については、予算の関係もあるが今後速やかにアスファルト舗装に向けて検討したい。



未舗装の外前野記念会館(ハーモニー)駐車場